

SDGs 推進委員会外部委員
千葉商科大学 理事
高橋 伸治



未来に火を灯す活動を 協栄がSDGsで担う使命

SDGs 推進の意義と目的

SDGs（持続可能な開発目標）は、2030年の世界と地球のあるべき姿を示しています。SDGsは、持続可能でよりよい世界を実現するために、17の目標と169のターゲットを掲げており、これらは以下の「5つのP」に基づき構成されています。

- People（人間）
- Prosperity（豊かさ）
- Partnership（パートナーシップ）
- Planet（地球）
- Peace（平和）

「5つのP」は、目標を包括的に捉え、相互に関連する課題に対処するために設定されています。持続可能な未来を実現するためには、人間の福祉、経済の発展、環境保護、国際協力、平和の維持を一体となって推進することが求められます。社会を構成する一員である協栄も、この目標に向けた取り組みを真剣かつ計画的に進めていく必要があります。



日本社会の課題とSDGsが目指す姿

SDGsでは、個人から世界レベルまで、あらゆる主体が一体となって取り組むことが求められます。しかし日本社会では、自分たちが考えている以上にチームワークを意識する力が不足しているように感じます。周

囲の人々がなにを考え、どのように行動しているのかを知らなくても生きていける社会を築いてきましたが、その結果、多くのものを失ってしまいました。生産性の低下は、周りの人々の行動を考えずに、自分だけの考えで行動した結果といえます。今、これらの問題にどのように取り組むかが問われています。

SDGsは、パートナーシップを重視し、人間活動を通じて、豊かで平和な世界と地球環境を実現するための全世界共通の目標です。協栄にも、強固なチームワークを築き、協力しながらSDGsに真摯に向き合ってもらいたいと願います。

株式会社協栄が担う役割

近年、官公庁が主催するすべてのイベントや活動において、SDGsの基準に従うことが義務化されています。2025年に開催される大阪万博も、SDGs一色になると予想されています。また、教育現場ではすでにSDGsがカリキュラムに組み込まれており、学生たちの認知度は非常に高まっています。

協栄も、持続可能な社会の実現に向けて、SDGsへの関心を深めるだけでなく、具体的なアクションを起こさなければなりません。協栄は、スポーツやホールなどで開催される各種イベントを通じて、若者たちとつながることができる企業です。この接点を最大限に活用し、ぜひ大胆な挑戦を続けてほしいと考えています。多様な世代との交流を促進し、皆様とともに、若者たちの未来に希望の火を灯していきましょう。